

上場会社名 株式会社ファンケル

(コード番号: 4921 東証第一部)

(URL <http://www.fancl.co.jp>)代表者 代表取締役社長 藤原 謙次
問合せ先責任者 取締役管理本部長 松本 克彦

TEL:(045)226-1200

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における : 有
認識の方法との相違の有無

(内容)

固定資産の減価償却の方法

(1)有形固定資産……年度見込額のうち当四半期分を計上しております。

(2)無形固定資産……年度見込額のうち当四半期分を計上しております。

法人税等の計上基準……法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

その他影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続きを用いております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無

2. 平成 16 年 3 月期第 3 四半期の業績概況 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 12 月 31 日)

(1)経営成績 (連結) の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		当期(四半期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年3月期第3四半期	64,107	6.5	8,130	14.5	8,388	16.2	4,057	27.3
15年3月期第3四半期	68,528	-	9,513	-	10,012	-	5,578	-
(参考)15年3月期	90,025		11,526		11,849		6,428	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
16年3月期第3四半期	183.80	-
15年3月期第3四半期	240.80	-
(参考)15年3月期	279.58	-

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示す。

(2)財政状態 (連結) の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年3月期第3四半期	80,636	67,491	83.7	3,112.54
(参考)15年3月期	79,804	66,349	83.1	2,976.31

(3)連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期第3四半期	4,158	3,231	3,159	24,133
(参考)15年3月期	9,828	5,582	5,432	26,370

(4)連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数 6 社 持分法適用非連結子会社数 - 社 持分法適用関連会社数 - 社

(5)連結範囲及び持分法の適用の異動状況

連結 (新規) - 社 (除外) - 社 持分法 (新規) - 社 (除外) - 社

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

平成15年11月4日の平成16年3月期中間決算発表時の予想を変更していません。

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	85,200 <small>百万円</small>	7,700 <small>百万円</small>	3,700 <small>百万円</small>

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期）168円86銭

《ご参考》平成16年3月期の個別業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	67,200 <small>百万円</small>	5,500 <small>百万円</small>	2,600 <small>百万円</small>

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期）118円66銭

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

経営成績（当第3四半期の概況）

（平成15年4月1日～平成15年12月31日）

当期のわが国経済は、輸出企業の業況改善や株式市場の回復など一部に景気回復の兆しが見られたものの、デフレの長期化や雇用環境の低迷など、依然として不透明な状況が続いております。

化粧品業界は、スキンケア市場が若干伸長しているものの、マーケット全体としては横ばいで推移しております。

健康食品業界は、市場は拡大しているものの、さらに競争の激化が顕著となっております。

1) 化粧品関連事業

売上高

化粧品関連事業の売上高は、26,343百万円（前年同期比8.1%減）となりました。

	平成15年3月期 第3四半期		平成16年3月期 第3四半期		伸び率
	金額	構成比	金額	構成比	
ファンケル化粧品	23,089百万円	80.5%	19,906百万円	75.6%	13.8%
アテニア化粧品	5,346百万円	18.6%	6,109百万円	23.2%	14.3%
その他	242百万円	0.9%	327百万円	1.2%	34.9%
合計	28,678百万円	100.0%	26,343百万円	100.0%	8.1%

	平成15年3月期 第3四半期		平成16年3月期 第3四半期		伸び率
	金額	構成比	金額	構成比	
通信販売	17,751百万円	61.9%	16,571百万円	62.9%	6.7%
店舗販売	8,715百万円	30.4%	8,024百万円	30.5%	7.9%
その他	2,211百万円	7.7%	1,748百万円	6.6%	21.0%
合計	28,678百万円	100.0%	26,343百万円	100.0%	8.1%

通信販売は、16,571百万円（前年同期比6.7%減）となりました。

ファンケル化粧品は、顧客数の減少によりフェナティを中心とした基礎化粧品の売上が前年同期を下回りました。メイク製品は9月のリニューアル後売上を伸ばしたものの、基礎化粧品の落込みをカバーできず、売上高は10,833百万円（前年同期比14.4%減）となりました。

一方、アテニア化粧品は、効果的な広告宣伝活動と販売促進活動により顧客数が過去最高となり（12月末現在）、基礎化粧品、メイク製品ともに引き続き好調で、売上高は5,733百万円（前年同期比12.7%増）となりました。

店舗販売は、4月4日にファンケルスクエアがオープンしましたが、既存店売上高の減少が続き、8,024百万円（前年同期比7.9%減）となりました。12月末店舗数は、ファンケルハウス115店（フランチャイズ2店を含む：当期累計4店退店）、ファンケルスタイル7店（当期累計6店出店）、アテニアショップ5店（当期出退店なし）、その他業態1店（当期出退店なし）となりました。

その他の販売チャネルは、ローソンでの日販金額の伸び悩みとSARSの影響などによる香港向けの減少により、1,748百万円（前年同期比21.0%減）となりました。

営業損益

損益面では、比較的原価率の高いメーカー製品の売上構成比が上昇したことなどにより原価率は上昇しましたが、テレビによる広告宣伝を積極展開した前年同期に比べ広告宣伝費が減少したことおよび通信費などが減少したことにより、売上高営業利益率は前年同期に比べ0.3ポイント上昇し22.6%となりました。しかし、ファンケル化粧品の売上減が大きく、営業利益は5,950百万円（前年同期比6.8%減）となりました。

2) 健康食品関連事業

売上高

健康食品関連事業の売上高は、22,150百万円（前年同期比1.1%増）となりました。

	平成 15 年 3 月期 第 3 四半期		平成 16 年 3 月期 第 3 四半期		伸び率
	金額	構成比	金額	構成比	
通信販売	12,908 百万円	58.9%	12,281 百万円	55.5%	4.9%
店舗販売	4,033 百万円	18.4%	4,413 百万円	19.9%	9.4%
その他	4,967 百万円	22.7%	5,455 百万円	24.6%	9.8%
合計	21,909 百万円	100.0%	22,150 百万円	100.0%	1.1%

通信販売は、12,281百万円（前年同期比4.9%減）となりました。ダイエット関連製品やハーブ製品は増加しましたが、サポートシリーズやミネラル等の売上減少をカバーするには至りませんでした。11月以降、顧客数は回復傾向にあります。

店舗販売は、化粧品販売が中心のファンケルハウスにおいてダイエット関連製品や美容補助食品、ハーブ製品の売上が増加し、ファンケルスクエアの効果もあって、売上高は4,413百万円（前年同期比9.4%増）となりました。12月末店舗数は、元気ステーション8店（当期累計1店出店、1店退店）、元気ネット2店（当期累計8店退店）となりました。

その他の販売チャネルでは、SARSの影響などにより香港向けは減少しましたが、コンビニエンスストアやスーパーマーケットでの売上が増加したことにより、5,455百万円（前年同期比9.8%増）となりました。

営業損益

損益面では、一部原材料価格の高騰により原価率が上昇したことおよび顧客獲得に向けて広告宣伝費、販売促進費を増加させたことにより、営業利益は4,359百万円（前年同期比19.4%減）売上高営業利益率は5.0ポイント低下し19.7%となりました。

3) その他事業

売上高

その他事業の売上高は、15,613百万円（前年同期比13.0%減）となりました。

	平成 15 年 3 月期 第 3 四半期	平成 16 年 3 月期 第 3 四半期	伸び率
	金額	金額	
発芽玄米事業	5,101 百万円	4,203 百万円	17.6%
青汁事業	1,763 百万円	2,470 百万円	40.1%
NGC通販事業	8,622 百万円	6,284 百万円	27.1%
その他の事業	2,452 百万円	2,654 百万円	8.2%
合計	17,939 百万円	15,613 百万円	13.0%

発芽玄米事業は、通信販売は顧客数の減少により売上は前年同期を下回りました。全国米穀販売事業協同組合・ホクレン農業協同組合連合会へのOEM供給についても、積極的に営業活動を展開しておりますが、取扱店舗数が伸びず、前年同期を下回りました。

青汁事業は、すべての販売チャネルにおいて売上が増加しました。冷凍タイプに加え、粉末タイプも堅調に推移しております。

NGC通販事業は、カタログの内容、顧客サービス、製品ラインナップなど事業全般の見直しに着手しており、売上高は前年同期を下回る結果となりました。

その他の事業は、雑貨の販売が堅調に推移したことおよびファンケルスクエアのエステサロンなどの売上高が当期から計上されたことにより、前年同期を上回りました。

営業損益

損益面では、青汁事業の収益が大きく改善したことにより、営業損失は596百万円となり、前年同期に比べ424百万円改善しました。

以上の結果、当第3四半期までの売上高は64,107百万円（前年同期比6.5%減）、営業利益は8,130百万円（前年同期比14.5%減）、売上高営業利益率は1.2ポイント低下し、12.7%となりました。

営業外損益は、匿名組合投資収益が減少したことなどにより前年同期より241百万円悪化し、経常利益は8,388百万円（前年同期比16.2%減）、売上高経常利益率は1.5ポイント低下し13.1%となりました。四半期純利益は、役員退職慰労金規程の見直しに伴う過年度分の繰入れなど特別損失を計上した結果、4,057百万円（前年同期比27.3%減）、四半期売上高純利益率は前年同期より1.8ポイント低下し6.3%となりました。

連結貸借対照表

(百万円未満切捨て)

科 目	前 期 (15.3未現在)		当第3四半期 (15.12未現在)		増 減
	金 額	百分比	金 額	百分比	
		%		%	
流 動 資 産	41,207	51.6	40,851	50.7	356
固 定 資 産	38,596	48.4	39,784	49.3	1,188
資 産 計	79,804	100.0	80,636	100.0	832
流 動 負 債	11,403	14.3	10,301	12.8	1,102
固 定 負 債	2,050	2.6	2,843	3.5	793
負 債 計	13,454	16.9	13,145	16.3	309
資 本 金	10,795	13.5	10,795	13.4	-
資 本 剰 余 金	11,706	14.7	11,706	14.5	-
利 益 剰 余 金	48,027	60.2	51,198	63.5	3,171
評 価 差 額 金	9	0	18	0.0	27
為 替 換 算 調 整 勘 定	0	0	20	0.0	20
自 己 株 式	4,168	5.2	6,205	7.7	2,037
資 本 計	66,349	83.1	67,491	83.7	1,142
資 本・負 債 計	79,804	100.0	80,636	100.0	832

連結損益計算書

(百万円未満切捨て)

科 目	前第3四半期 (14.4.1 ~ 14.12.31)		当第3四半期 (15.4.1 ~ 15.12.31)		増 減	
	金 額	百分比	金 額	百分比	増減額	増減率
		%		%		%
売 上 高	68,528	100.0	64,107	100.0	4,421	6.5
売 上 原 価	23,332	34.0	22,048	34.4	1,284	5.5
売 上 総 利 益	45,196	66.0	42,058	65.6	3,138	6.9
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	35,682	52.1	33,928	52.9	1,754	4.9
営 業 利 益	9,513	13.9	8,130	12.7	1,383	14.5
経 常 利 益	10,012	14.6	8,388	13.1	1,624	16.2
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	9,458	13.8	7,161	11.2	2,297	24.3
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	3,880	5.7	3,104	4.9	776	20.0
当 期 純 利 益	5,578	8.1	4,057	6.3	1,521	27.3

セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前第3四半期(14.4.1~14.12.31)

(単位:百万円)

	化粧品 関連事業	健康食品 関連事業	その他事業	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	28,678	21,909	17,939	68,528	-	68,528
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	28,678	21,909	17,939	68,528	-	68,528
営 業 費 用	22,292	16,499	18,961	57,752	1,262	59,015
営業利益又は営業損失()	6,386	5,410	1,021	10,776	(1,262)	9,513

当第3四半期(15.4.1~15.12.31)

(単位:百万円)

	化粧品 関連事業	健康食品 関連事業	その他事業	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	26,343	22,150	15,613	64,107	-	64,107
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	26,343	22,150	15,613	64,107	-	64,107
営 業 費 用	20,393	17,790	16,209	54,394	1,582	55,976
営業利益又は営業損失()	5,950	4,359	596	9,713	(1,582)	8,130

《ご参考》

(単独)貸借対照表

(百万円未満切捨て)

科 目	前 期 (15.3末現在)		当第3四半期 (15.12末現在)		増 減
	金 額	百分比	金 額	百分比	
		%		%	
流 動 資 産	30,665	45.7	29,576	43.9	1,089
固 定 資 産	36,408	54.3	37,737	56.1	1,329
資 産 計	67,074	100.0	67,313	100.0	239
流 動 負 債	8,435	12.6	7,636	11.3	799
固 定 負 債	1,221	1.8	2,086	3.1	865
負 債 計	9,656	14.4	9,723	14.4	67
資 本 金	10,795	16.1	10,795	16.0	-
資 本 剰 余 金	11,706	17.5	11,706	17.4	-
利 益 剰 余 金	39,084	58.2	41,281	61.3	2,197
評 価 差 額 金	1	0.0	13	0.0	12
自 己 株 式	4,168	6.2	6,205	9.2	2,037
資 本 計	57,418	85.6	57,590	85.6	172
資 本・負 債 計	67,074	100.0	67,313	100.0	239

(単独)損益計算書

(百万円未満切捨て)

科 目	前第3四半期 (14.4.1~14.12.31)		当第3四半期 (15.4.1~15.12.31)		増 減	
	金 額	百分比	金 額	百分比	増減額	増減率
		%		%		%
売 上 高	53,671	100.0	50,319	100.0	3,352	6.2
売 上 原 価	18,334	34.2	18,150	36.1	184	1.0
売 上 総 利 益	35,336	65.8	32,169	63.9	3,167	9.0
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	28,164	52.5	26,335	52.3	1,829	6.5
営 業 利 益	7,171	13.3	5,834	11.6	1,337	18.6
経 常 利 益	7,919	14.8	6,409	12.7	1,510	19.1
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	7,881	14.7	5,171	10.3	2,710	34.4
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	3,348	6.2	2,089	4.2	1,259	37.6
当 期 純 利 益	4,533	8.4	3,082	6.1	1,451	32.0